

レーザートーニング 治療説明・同意書

- 1) この治療は Q スイッチ YAG レーザーの照射により、肝斑や色素性疾患を複数回の治療でダウンタイム無しに改善させることを目的とした治療です。
- 2) 1 回で全ての症状を改善するのではなく、複数回の治療を継続することにより少しずつ穏やかに改善していきます。しみの完治を目的としたものではなく、あくまでも色調を薄くして整えていくことが治療の目的となります。
- 3) 2 回目以降の治療間隔は1~2週間が目安です。
治療回数は肌質、症状により異なりますが、10回程度が目安になります。その後は月に 1 度のメンテナンス治療をお勧めしております。
- 4) おおよその治療時間は顔全体で10~20分、クーリングを10分程度させていただきます。
- 5) レーザー照射中は、多少チクチクする痛みがあります。部位によっては(骨の出ている部分など)痛みが増すことがあります。
- 6) 特別なケースを除き、術後にガーゼやテープを貼る必要はありません。
- 7) 当日から入浴はできますが、熱いお湯に長時間入ることは避けてください。
- 8) 照射後、皮膚に赤み、膨疹、痒み、点状出血が出ることもあります。
初回時に軟膏を処方しますので、症状が出た場合はそちらをご使用ください。2 回目以降は必要に応じてご購入いただきます。(1 本 ¥150-)
- 3 日間薬を使用しても症状が改善されない場合や、ご心配な場合はご連絡ください。
- 9) 効果には個人差があり、色素の状態によっては、改善が見られない場合があります。また、大きなホクロ、開いた傷、もしくは皮膚疾患のある箇所は治療を行わないことがあります。
- 10) 施術後に副作用である熱傷、炎症後色素沈着、脱色素斑を起こしたりする場合があります。まれにあります。副作用が出た場合は症状に応じて必要な治療を行います。
- 11) トラネキサム酸、ビタミン C、ビタミン E の内服、ハイドロキノンの外用、エレクトロポレーションでの薬剤導入をお勧めしております。これらは、それだけでも肝斑や色素性疾患の治療効果を持ちますが、レーザートーニングに組み合わせることで、レーザーの効果を増大するだけでなく、炎症後色素沈着などの合併症の防止に役立ちます。
- 12) レーザートーニングで薄くならない大きなシミ、濃いシミなどに対して、別のレーザーを追加照射することもできます。
- 13) 治療期間中は紫外線防止剤を使用してください。また、洗顔時などに顔をこすらず、泡で洗顔するように御注意ください。
- 14) 経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただくことがございます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。
- 15) 気になることがございましたら適宜診察させていただきます。事前予約の際にお申し出ください。
- 16) 治療には副作用が発症する可能性があることもご理解いただいた上で治療をお受けください。治療効果をご期待に添えない場合や副作用が発症した場合でも治療費の返還はありません。また、副作用に関わる治療費は患者様ご本人のご負担になりますことをご了承ください。